

平成 28 年度 第 1 回文京区地域福祉推進協議会保健部会 要点記録

日時：平成 28 年 5 月 12 日（木）午後 2 時～午後 3 時
場所：文京シビックセンター24 階第一委員会室

<会議次第>

I 開 会

- (1) 委員の出欠状況
- (2) 会長氏名・挨拶

II 議題

- (1) 平成 28 年度の分野別検討体制及びスケジュールについて 【資料第 1 号】
- (2) 健康に関するニーズ調査の概要について 【資料第 2 号】
- (3) その他

III 閉 会

<地域保健推進協議会委員（名簿順）>

出席者

高野健人会長、金吉男委員、志賀泰昭委員、安東治家委員、川又靖則委員、橋本初江委員、柴藤徳洋委員、鳶巢賢一委員、宇賀治みや子委員、寺崎利吉委員、小野寺加代子委員、田中ひとみ委員、黒住麻理子委員、松尾裕子委員、山下美佐子委員、濱崎清委員、尾崎亘彦委員、小山榮委員、高柳茂美委員、西村久子委員、永井昌美委員

欠席者

須田均委員、坂庭富士雄委員、川田智之委員、神馬征峰委員、谷川武委員、三本木千秋委員

<事務局>

出席者

石原保健衛生部長、吉田生活衛生課長、渡邊健康推進課長、渡瀬予防対策課長、久保保健サービスセンター所長

欠席者

なし

<傍聴者>

なし

I 開会

開会・委員の出欠状況・会長指名・会長の職務代理指名・配布資料確認・会長へ進行依頼。（議事省略）

II 議題：(1) 平成 28 年度の分野別検討体制及びスケジュールについて

吉田課長：(1) 平成 28 年度の分野別検討体制及びスケジュールについて【資料第 1 号】の説明（議事省略）

III 議題：(2) 健康に関するニーズ調査の概要について

吉田課長：(2) 健康に関するニーズ調査の概要について【資料第 2 号】の説明（議事省略）

高野会長：調査概要についてご質問ご意見がありましたら、よろしくお願ひいたします。

金委員：有効回答率 50%弱という結果については、区民の健康への意識が高いと思います。しかし、検診の受診率は低くなっています。反面、区に求める施策では健康診査や各種検診の体制が 50%を超えており、少し矛盾した結果ですが、要するに土曜日などでも検診してほしいということでしょうから、この点は医師会会員に周知していきたいと思います。もう一点、通院の具体的内容の回答で「その他」が一番多くなっています。骨関節疾患を新たに選択肢に加えることで、その他の割合が減ると思いますので、よろしくお願ひいたします。

川又委員：この質問の内容が 20 歳から 89 歳まで全く一緒なら、質問の仕方は工夫して欲しいです。

柴藤委員：回答方法をインターネットでも可能にしたり、調査に対する謝礼等を設ければ回収率が上がるのではないのでしょうか。

高野会長：第 1 点は検診についての聞き方や質問項目の検討。2 点目は代理回答可にするか。3 点目は高い回収率である 48.4%をさらに高めるための工夫はないかという点です。

吉田課長：1 点目は検討していきたいと考えております。2 点目は必ず本人が書かなくても良いと考えております。3 点目は特に高齢者の方への負担減らして、回収率が低くならないよう工夫をしたいと考えております。

高野会長：前回調査ではご記入にあたってのお願いで、ご本人が記入できない場合は、ご家族がご本人からお話を聞いて、ご記入くださいとあります。それから区報でも、もう少し周知できると思います。

鳶巣委員：住民基本台帳から無作為抽出とありますが、4,800 人の詳しい選び方を教えてください。

高野会長：おそらく年齢階級別に選んでいると思います。また年齢階級別の人口あたりで、サンプル数を決めているのかどうかお願ひします。

吉田課長：年齢や階級別に、サンプル数を出して配布をします。

鳶巣委員：前回は何故 70 歳未満なのですか。

吉田課長：高齢者については、高齢者介護部会の調査と重複する点もあるため年齢の上限を 70 歳未満にしていますが、高齢者人口が増加傾向ということと、平均寿命が延びているため、上限を高くしました。

高野会長：年齢階級の人口あたりでサンプル数を決めるということですか。

小山委員：回収のできなかった人に追跡調査はしていますか。また発送するときに名簿と回答に番号を打って、誰が回答したか分かるようにしてはいけなひのでしょうか。

高野会長：後段は、やってはいけなひことです。

吉田課長：未回答だからといってまた予算を組み、その未回答の方にまたやるのかとなると、永遠に続いてしまいますし、この調査も何百万単位のお金と労力もかかるため難しひと考えております。

高野会長：委員が他の機会に、区として色々きめ細かい対策をしても、そこから抜ける人はどうするのか、と言われていたと思います。それはこの協議会や部会で、今後も引き続き検討すべきことだと思います。

尾崎委員：調査対象年齢があがったのでその実態をあぶりだすのも、調査項目のポイントかと思いますが、アイデアがあったら教えていただきたいです。

高野会長：年齢ごとに設問をかえるのは困難です。それをやると誤った結論が導き出されるので、同じ質問を同じようにするということだと思います。金先生のご指摘にもありましたが、病気の回答肢の検討はされたいと思います。また調査は同じフレームワークでやって、前回のものや、他区の似たような調査と突き合せますので、それで後期高齢者などの実態は浮かび上がると思います。

吉田課長：経年で見ると必要もあります。差が出てくるところが、医療分野・保健分野の行政課題としてあぶりだされます。そのような質問はどうしても入りますが、質問数を増やすと回収率が悪くなるというジレンマがあります。全国や都と比較して、文京区の特長を知るためそういった趣旨の質問も入ることになります。

黒住委員：無作為抽出で他の部会の調査対象者と被ることはありますか。

吉田課長：重複しないように調整いたします。

永井委員：5年前の調査と異なり、インターネット関係をどういうグループで質問するかの工夫が必要だと思います。

高野会長：通信情報技術は5年間でも進んでいます。質問の構成を次回検討して出してください。その他皆さん方から何か議題はありますか。ないようでしたら議事はこれで終了させていただきます。

Ⅲ閉会

吉田課長：ありがとうございました。第2回は地保協と保健部会の合同開催です。日時は7月11日です。それではこれをもって閉会といたします。熱心なご議論どうもありがとうございました。